

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	[5460]双海地域ふれあい館運営事業			
予算科目	10 款 5 項 5 目			
総合計画での位置付け	教育・文化・スポレクの振興～うるおいと生きがいのひとづくり～ 生涯学習の推進			
所管課情報	担当課:	社会教育課	電話番号(内線):	737
記入者情報	所属長:	武智 亨	担当責任者:	安田 敦
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 23 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	一般市民			
根拠法令等				
事業の目的	旧中学校施設を地域文化の伝承及びコミュニティーの助長並びに高齢者の生きがいがづくりの場として有効活用を図る。			
事業の内容	ふれあい館に関する運営を図る。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	地域の各団体の会合等で施設利用についてPRを行う。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	619	1,232	426	1,088
	人件費	2,033	1,988	1,034	1,988
	合計	0	3,220	1,460	3,076
人件費 内訳	人工数	0.25	0.25	0.13	0.25
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	2,033	1,988	1,034	1,988
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	1	58	84
	その他	0	0	0	0
	一般財源	2,652	3,219	1,402	2,992

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
施設利用回数	回	1	40	74	97

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
		1,287	1,000	1,000	1,000	

成果指標				
成果指標	施設利用回数			
指標設定の考え方	施設利用回数を把握する			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	2	40	0	0
実績	1	97	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	地域の各団体の会合等で施設利用についてPRを行い、利用回数の増加につなげることができた。また、利用者に安全に利用してもらうため、消防設備等の修繕を実施し、施設の維持管理・安全管理に努めることができた。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	体育館等を住民が安全に利用できるよう管理を引き続き行っていく。旧校舎については利用がないので今後の運営方針を決定する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題